

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
「稼ぐ力」の向上に取り組みます	
1 中小企業振興を推進します	地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、経営力を強化する振興策を総合的に展開します。
2 中小企業の業務効率化・生産性向上のため、ICTの導入を促進します	中小企業の業務効率化・生産性向上のため、事業所への専門家による訪問診断やICTの導入促進のための支援を行うとともに、気軽に最新のデジタル機器やソフトなどに触れられる場を創出します。
3 生産性を上げて、賃金を増やします	製造業・サービス業を中心に、ICT等を活用した生産性向上や販路拡大の取組を支援するとともに、先進事例を普及する取組を進めます。
4 ICT 関連産業振興に取り組みます	ICT産業を鹿児島市の基幹産業に育てるべく、技術者の育成や雇用の受け皿となる企業、個人事業主の誘致、市発注のICT関連調達の地元発注など、総合的に取組を進めます。
5 積極的に起業支援を推進します	起業に必要なことを学ぶセミナー、制度融資、大学等研究機関との連携など、起業支援や起業家育成にかかる取組を積極的に推進します。
6 スタートアップ支援の強化に取り組みます	新規性の高い事業で急成長を目指すスタートアップへの支援を強化します。
7 戦略的な企業誘致に取り組みます	若者の流出を抑制するとともに、中心市街地や地域経済の活性化を図るため、街なかへの情報関連産業のオフィス誘致など、戦略的な企業誘致や誘致後の事業継続に向けたきめ細かな支援に取り組みます。
8 事業者の海外展開を促進します	事業者の海外での販路拡大などを支援し、海外展開を促進します。
9 農産物の付加価値を高め有機農業の振興を推進します	持続可能な農業生産活動を支援するため、有機農業への転換や生産体制の確立、有機JAS認証取得の支援、ブランド化などを行うとともに、生産者と消費者をつなぐコーディネーターを配置するなど、有機農業の振興を図ります。
10 スマート農業を強力的に推進します	「稼げる農業」実現のため、最先端のICTを活用した「スマート農業」を強力的に推進します。
11 持続可能な「稼げる農林水産業」づくりを進めます	持続可能な稼げる農業・林業・水産業づくりに向け、多様な生産性向上の取組を促進するとともに、海外を含めた販路拡大も支援します。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
妊娠・出産、子育てへの支援を充実させます	
12 こどもを産み・育てる親に寄り添う取組を進めます	産後ケアや相談支援など、こどもを産み・育てる親に寄り添い、妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援に取り組みます。
13 若年者に対するプレコンセプションケアに取り組みます	早い段階から妊娠出産の知識をもち、自分の身体への健康意識を高めるため、中学、高校、大学等での啓発活動を行うとともに、卵巣予備機能に関する検査への助成を行うなどプレコンセプションケアを推進します。
14 親子で楽しめる機会を増やし、子育てに夢と希望を持てるこどもまんなか社会を目指します	こどもの未来応援条例の普及とこどもまんなか社会の機運醸成のため、子育て相談や子育て支援も行う親子が楽しめるイベントの開催など、親子で楽しめる機会を増やします。
15 こどもが安心して遊べる「まぐまっこ asobiba100の認定」に取り組みます	こどもまんなかまちづくりを推進するため、天候に左右されずこどもたちが安全にワクワク遊べる遊び場やこども連れでも入りやすい店舗等を認定し、必要な支援を行います。
16 待機児童ゼロを実現します	保育所等待機児童数ゼロを継続します。また児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。
17 保育士の確保策を講じます	保育士の処遇改善や潜在保育士の復職、保育所等に就職した保育士の奨学金返済に対する支援等に取り組みます。
18 児童クラブの機能向上を図ります	児童クラブにおいて、民間や地域と連携しながら学習環境の向上を図るとともに、補助事業も活用した開所時間の延長を検討するなど、児童クラブの機能向上を図ります。
19 病児・病後児保育体制を整備します	病児・病後児保育の利用実態を踏まえながら、より使いやすい病児・病後児保育の仕組みづくりに取り組みます。
20 こども医療費の負担を軽減します	こども医療費助成制度については、医療費の全額助成の対象を中学生までに拡充するとともに、医療機関等での窓口負担をなくします。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
こどもまんなか社会の実現に向けて取り組みます	
21 こどもや若者の意見を表明する機会を創ります	こどもの未来応援条例の基本理念に定めている「こどもの権利の尊重」を推進するため、こどもや若者が意見を表明する機会を創出します。
22 こどものためのオンライン相談を開始します	こどもがいつでもどこでも相談できる体制を整えるため、こどものためのチャット相談を開始します。
23 こどもの視点に立った多様な居場所づくりを進めます	こどもの「居場所」に関する実態等を把握し、こどもが安心して過ごすことができる「こどもの居場所」づくりを推進します。
24 家庭環境に左右されない学習機会を提供します	経済的に恵まれない家庭のこどもたちに対する学習支援の充実を図るため、こども食堂をはじめとした「こどもの居場所」における学習支援を進めます。
25 児童相談所の設置に向けた取組を進めます	児童相談所の設置に向けて、施設整備を進めるとともに、人材育成や相談機能などの強化に取り組みます。
26 発達障害の療育支援を行います	発達障害の早期発見・療育に向け、引き続き取り組みます。
27 桜島地域においてこどもまんなかの子育て環境を整えます	桜島地域において桜島学校の整備や幼保一元化を進め、桜島地域の活性化と子育て環境の充実を図ります。
28 IT 関連教育を推進します	情報活用能力の育成やプログラミング教育の実施など、支援スタッフ等のサポートにより、ICT関連教育のさらなる充実に取り組みます。
29 教育DXを積極的に進めます	学校教育において、生成AIを含むデジタル技術の活用をさらに進め、一人ひとりに合った、より質の高い教育に取り組みます。
30 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います	今後の鹿児島を担う青少年の国際感覚を養い、海外との人的ネットワークを構築するため、海外派遣、留学支援を行います。また、実施に当たっては、家庭環境等に左右されないよう募集や選考において配慮します。
31 心を育む教育を推進します	道徳・人権教育やこどもたちの体験活動の充実、不登校児童生徒の自立支援などにより、困難を乗り越え可能性に挑戦する心を育む教育を推進します。
32 小中学校の屋内運動場への空調設備の整備を検討します	酷暑対策として、災害時に避難所として使用される小中学校の屋内運動場への空調設備の導入を検討します。
33 市立高校の振興と環境整備を図ります	市立高校（鹿児島玉龍高校、鹿児島商業高校、鹿児島女子高校）について、ふるさと納税を活用し、より充実した教育環境の整備に取り組みます。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
スポーツを中心としたエンターテイメントを促進します	
34 まちに新たな賑わいと活気を生み出すスタジアムの整備に向けた取組を進めます	まちに新たな賑わいと活気を生み出すスタジアム整備に向けて、県や民間を含めオール鹿児島で取り組みます。
35 プロスポーツチームの活動を支援します	本市に拠点のあるプロスポーツチームの活動を支援し、魅力あるスポーツコンテンツによる賑わい創出につなげます。
36 魅力あるスポーツコンテンツの充実を図ります	スケートボード等の専用施設の整備に向けた取組やeスポーツの促進を含め、市民がスポーツを楽しみ親しむとともに、交流人口の拡大とにぎわいの創出につながるようスポーツコンテンツの充実を図ります。
37 街なかでアーバンスポーツを体験できる機会を創出します	スポーツクライミング、3人制バスケ、プレイキンなど、アーバンスポーツを街なかで気軽に体験できるイベントなどを開催し、若者が楽しめる機会を増やします。
38 スポーツ合宿の誘致に取り組みます	民間事業者や教育研究機関等と連携し、プロ、実業団チームや学生の部活などスポーツ合宿の誘致を推進します。
若者、女性が活躍できる環境の整備を進めます	
39 男女共同参画を推進します	女性職員の登用拡大に向けて、積極的な育成や相談体制など必要な環境の整備に取り組みます。また地域や審議会等への女性の参画・登用を積極的に進めます。
40 アンコンシャスバイアスの見える化を進め、職場や地域における女性活躍を推進します	職場や地域などにおける固定的な役割分担意識や無意識の思い込みなど、いわゆるアンコンシャスバイアスの解消を図るため、その見える化を進めるとともに、解消のための取組への支援などを行います。
41 若者や女性が働きやすい職場づくりを進めます	働き方改革や男性従業員の育児休暇取得、女性従業員が出産後も継続して働きやすい職場づくりを奨励するため、効果的な取組を行った事業者の支援を行います。
42 若年層の市内就職定着を図ります	若年層の離職防止のため、奨学金の返済に対し支援を行うなど、人材の確保定着促進の取組を行う事業者に対し支援を行います。